

遠隔授業（授業回数全体の半分以上）の場合は、科目名の先頭に が付加されています（2022年度以降）

開講科目名 / Course	民俗芸能論 / Lectures on folkloric performing arts		
時間割コード / Course Code	G1000628_G1		
開講所属 / Course Offered by	共通 /		
ターム・学期 / Term・Semester	2023年度 / Academic Year 第1クォーター / 1Q		
曜限 / Day, Period	木 / Thu 3		
開講区分 / Semester offered	前期 / the former term		
単位数 / Credits	2.0		
学年 / Year	1,2,3,4		
主担当教員 / Main Instructor	吉村 旭輝		
授業形態 / Lecture Form	講義		
教室 / Classroom	E1-101 (東1号館) / E1-101		
開講形態 / Course Format			
ディプロマポリシー情報 / Diploma Policy	要件所属 / Course Name	ディプロマポリシー / Diploma Policy	DP値 / DP Point
	共通	幅広い教養と分野横断的な学力	6
		課題解決力と自己学修能力	2
		地域への関心と国際的視点	2
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	吉村 旭輝 (大学共通)		
授業の概要・ねらい / Course Aims	日本ではありとあらゆる地域に祭りや祭礼が存在している。また和歌山でも例外なく同様の祭りや祭礼が数多く存在している。これらの主催、あるいは主体となるのは、寺社だけでなく民衆や行政機関がそれを担っていることも少なくない。この祭りや祭礼で行なわれる芸能をとおして垣間見ることができる歴史・民俗、そして芸能などの変遷から現代的な視点をも含めた問題を取りあげ、地域における祭礼と芸能の実態を学ぶ講義である。		
到達目標 / Course Objectives	祭礼や芸能と地域との関係を深く理解し、みずからの居所や故郷を再認識することを目標とする。		
成績評価の方法・基準 / Grading Policies/Criteria	期末レポート(50%)、授業後のミニレポート(20%)、和歌祭参加・見学レポート(30%) 和歌祭が中止された場合、和歌祭参加・見学レポートは課さない。		
教科書 / Textbook	なし(毎回の授業で提示する。)		
参考書・参考文献 / Reference Book	佛教大学アジア宗教文化情報研究所編(2008)『民俗芸能の現在』、芸能史研究会編(1981-90)『日本芸能史』1-7、法政大学出版局、米田頼司(2010)『和歌祭 風流の祭典の社会誌』帯伊書店、和歌山大学紀州経済史文化史研究所編(2012)『増補・改訂版 みる・きく・たのしむ和歌祭』和歌山大学紀州経済史文化史研究所など		
履修上の注意・メッセージ / Notice for Students	受講者自身の故郷、あるいは現在の居所の祭礼について調べておくことが望ましい。期間中に祭礼や芸能の情報を紹介するので、積極的に見学することが望ましい。欠席が3分の1以上の場合、単位は認定しない。		
履修する上で必要な事項 / Prerequisite	5月15日に和歌の浦で開催される和歌祭四百年式年大祭(開催が見送られた場合は中止)のフィールドワーク(参加/見学)を行なうため、それに参加できることを基本とする。(やむを得ない理由で参加できない学生に対する代替措置(レポート)あり。)		
履修を推奨する関連科目 / Related Courses	わかやまを学ぶ、わかやま未来学、地域学、日本の民俗(教育学部のみ)		
授業時間外学修についての指示 / Instructions for studying outside class hours	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行なうこと。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求める。授業時間の約2倍の時間外学修を要する。		
その他連絡事項 / Other messages	特になし		
授業理解を深める方法 / How to deepen your understanding of classes	教養科目(基幹) - 科目群6『社会と、その公共性を考える』 参考書・参考文献とあわせて履修上の注意で明記している受講者自身の故郷あるいは現在の居所の祭り/祭礼だけでなく、年間をとおして行われている年中行事も調べ、予習復習をすることが重要である。		
オフィスアワー / Office Hours	火~木曜日10時30分~16時00分 西5号館1階 紀州経済史文化史研究所事務室 月~木曜日16時30分~17時30分 東3号館 南209(吉村研究室)		
科目ナンバリング / Course Numbering	C04031J1010112b1		

授業計画詳細 / Course schedule

回(日時) /Time (date and time)	主題と位置付け(担当) /Subjects and instructor's position	学習方法と内容 /Methods and contents	備考 /Notes
第1回(4/13)	ガイダンス		
第2回(4/20)	祭礼史研究:「祭り・祭礼・フェスティバル・イベント」		
第3回(4/27)	芸能史研究:「近世都市祭礼と和歌祭」		
第4回(5/11)	民俗芸能研究:「和歌祭御船歌と唐人の復興と継承 実践としての民俗芸能研究」		
和歌祭参加・見学 (5/14)	和歌祭への参加・見学 任意参加 (参加者以外はレポート提出)		
第5回(5/18)	和歌祭参加・見学グループ発表		
第6回(5/25)	芸能史研究と民俗芸能研究		
第7回(6/1)	芸能史研究:「芸能の歴史 古代～中世」		
第8回(6/8)	芸能史研究:「芸能の歴史 近世～現代」		
第9回(6/15)	民俗芸能研究:「熊野の祭り」と和歌山の獅子舞」		
第10回(6/22)	民俗芸能研究:「民俗芸能と映像 古座川町高池下部の獅子舞」		
第11回(6/29)	芸能史研究:「芸能の「流行」と「史跡」の形成」		
第12回(7/6)	芸能史研究:「田楽躍りと田楽法師」		
第13回(7/13)	芸能史研究:「盆踊りの歴史と泉州・紀州」		
第14回(7/20)	民俗芸能研究:「泉州の秋祭りとその歴史」		
第15回(7/27)	講義のとりまとめ		